



rule

設計 / ooc 橋本卓磨
施工 / ひととき 大森宗典
所在地 / 兵庫県淡路市浅野南

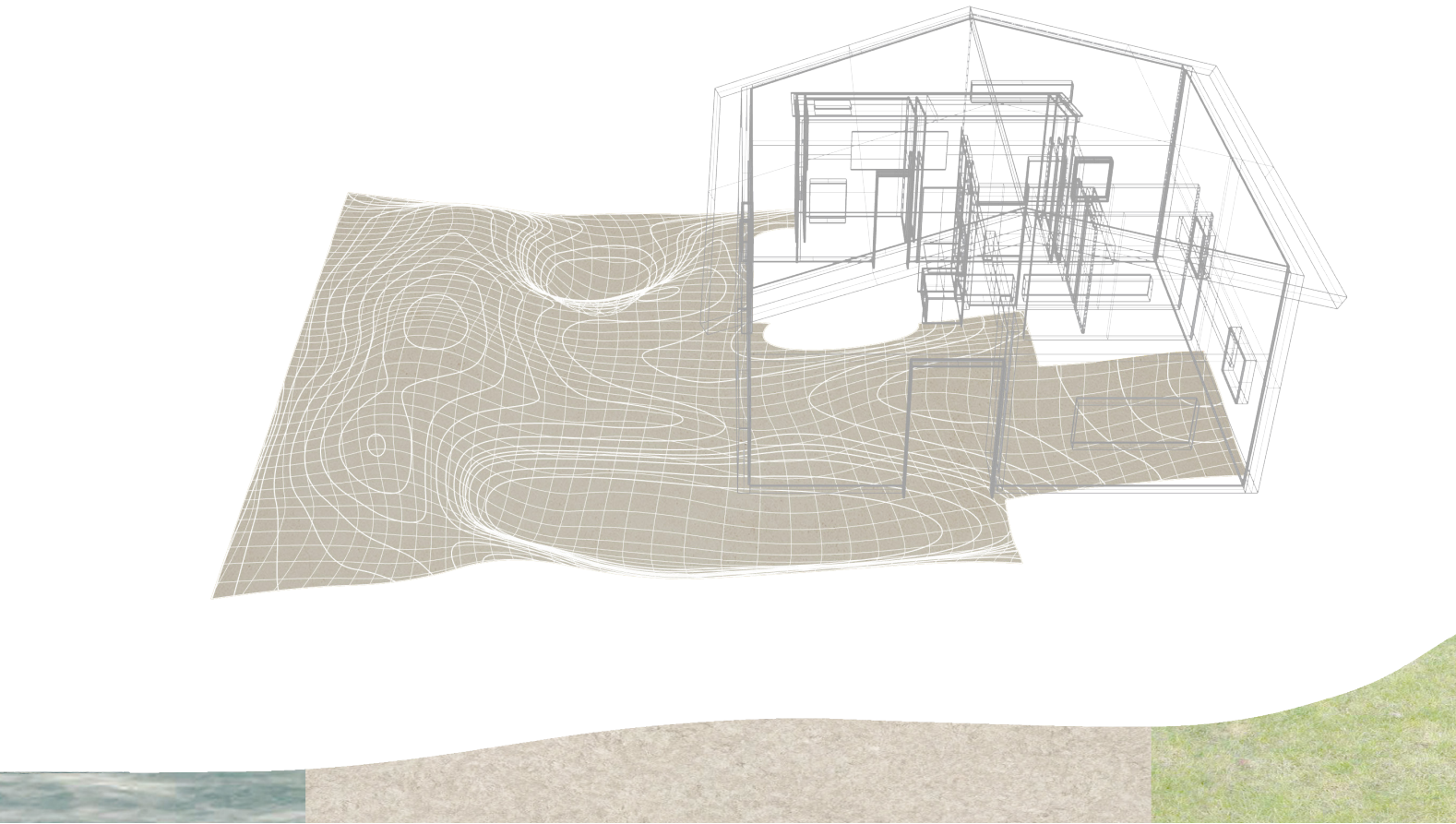
designer / ooc inc. takuma hashimoto
constructor / Hitotoki munenori omori
location / Asanominami, Awaji-shi, Hyogo

縷々

縷々という言葉は、長く静かにどこまでも続いていくことを意味している。縷々とした海の地平線に太陽が美しく落ちていく様子を眺めることができる住宅を宿泊施設として改修した。既存住宅の片側の屋根には芝生の草屋根が敷かれていることに着想を得て、山と海が縷々と繋がっていく大陸の構図をイメージし、起伏のある大地で建物の内と外を連続させた。草屋根は緩やかな山のかたちをなぞり、起伏のある大地は滞在する人々の居場所をつくり、ゆっくりと海へと導かれていく。ここでは海、大地、山の距離が近いという淡路島の風景の縮図を描いている。

左：3D で起伏を検討したデジタルドローイング。
左下：アプローチから外構を見る。
左中下：室内の緩やかな起伏と空間の陰影。

右：室内から外構とその先に続く海を眺める。
右中下：有機的な繋がりを意図した内と外の境界部分。
右下：大地が窪んだ浴槽の水面に風景が映り込む。





そこに在る風景への気づき

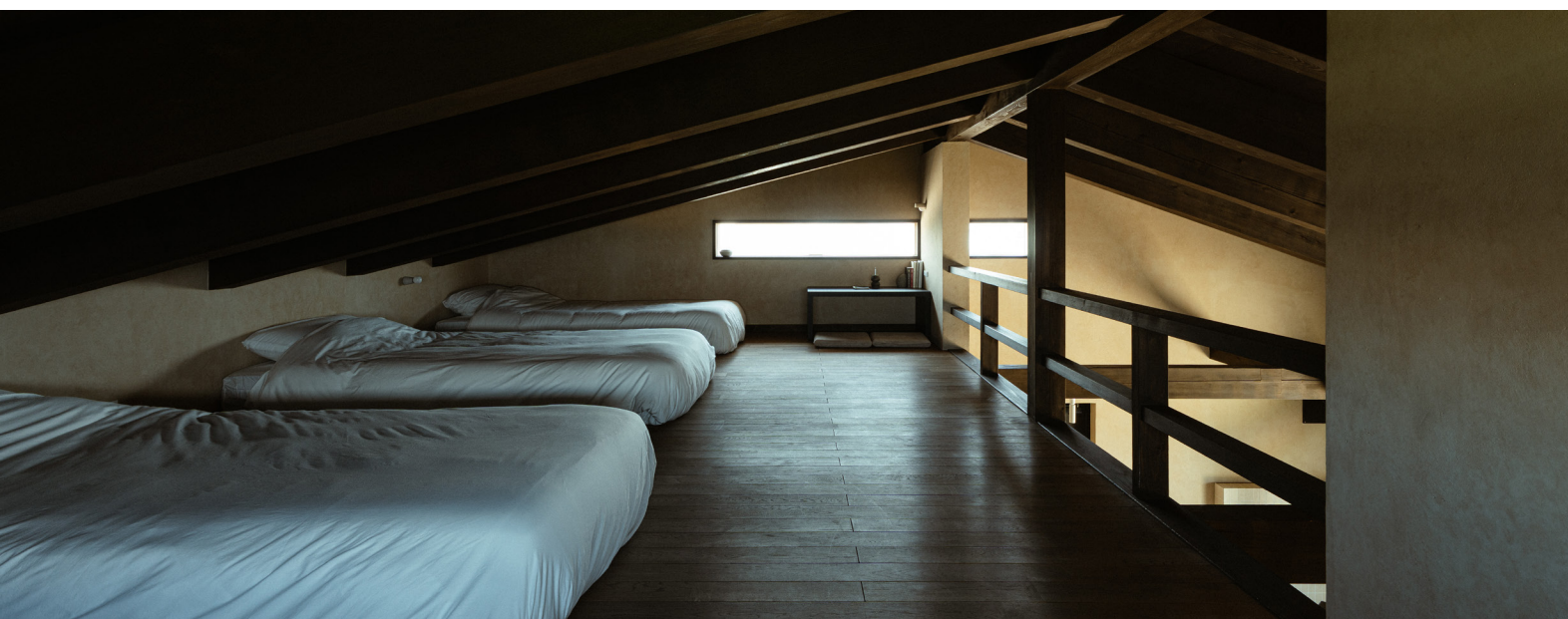
既存建物の屋根は切妻屋根であり、海に対して平入となっている。これによって海への水平性が生まれ、空間の中に風景への眼差しが現れる。ロフト部分も登り梁を現しとすることで、空間全体で海への方向性が強調されている。

今回の改修計画では、既存躯体によって象られた風景への骨格を残しながら「そこに在る」ものへの気づきを大切にすることを意図した。素材は土や石など、可能な限り自然物をそのままの姿で取り入れることで、有機的に伸びていく大地における風景の一部として扱った。雄大な大地に据わっている石に根を絡ませることで木々の礎を形成しているように、地質の違いで大地に窪みができてそこに水が滞留していくように、自然の有機性から生まれる事象を顕在化させるように空間全体を計画した。

起伏のなかに据えた石はテーブルの礎となり、大地を掘り下げることで水という恵みを享受する居場所をつくる。ひとつつながりの自然の流れのなかで素材が役割を生んでいき、それらが一体となって、縷々と続く風景を形づくっていく。

緩やかな形態に身体を委ねるなかで、そこにある風景への気づきが生まれ、自分自身がただそこに在るという空間体験が少しずつ心を豊かにしてくれる。

左：キッチンはミニマムな納まりにすることで素材の質感が強調される。
左下：ロフト部分を寝室としても使えるように計画している。
右中下：オブジェのような椅子を置けるように中央は広く空間を空けている。
右下：室内は緩やかな起伏があり、人々の居場所をつくっている。





素材への眼差し

素材の選定には何度かサンプルで試行錯誤しながら、島の風土と調和し、自然の質感を感じることができるとを意図した。

リビングの床は土のたたき仕上げとし、粒子の素材感を残しつつ素足でも歩けるような質感とした。外構部分は土に固化材を配合することで強度を増し、屋外浴槽の部分は表面を研磨することで耐水性を高めた。シャワー室の壁と天井は砂を混ぜた質感のある左官仕上げとすることで、柔らかな陰影と肌ざわりを生んでいる。洗面室の洗面器と照明は石をそのまま使ったオブジェを用いることで他の空間との調和を意図している。ダイニングテーブル脚の石は淡路島の採石現場から見つけたものを加工して据え置いている。キッチンの壁には淡路島の「淡陶社」のタイルを使っている。それぞれ砂、石、土という建材としては自然物と距離の近いマテリアルを取り入れることで、空間全体が作り出す風景との調和を意図している。

左：室内から外へ、そして縋々と続く海を眺める。

左下：サウナ室の横にあるシャワー室。時間帯によって柔らかな日差しが差し込む。

左中下：洗面室は他の水廻りとあわせた柔らかな色合いで空間を包んでいる。

右中下：自然石に天板が貫入することで支えとなっている。

右下：淡い色のタイルに合わせて飾り棚には施主が選定した陶器が置かれている。

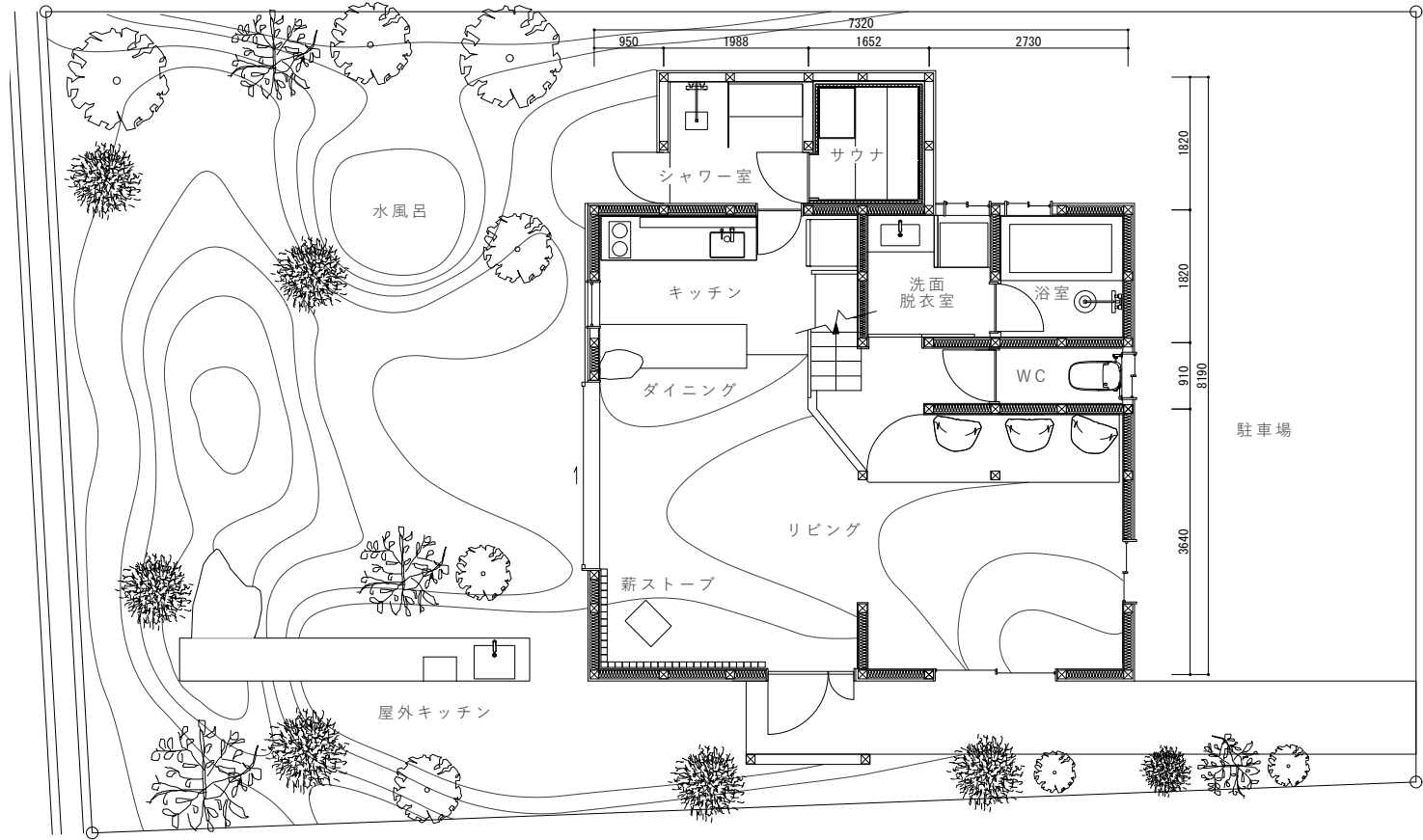




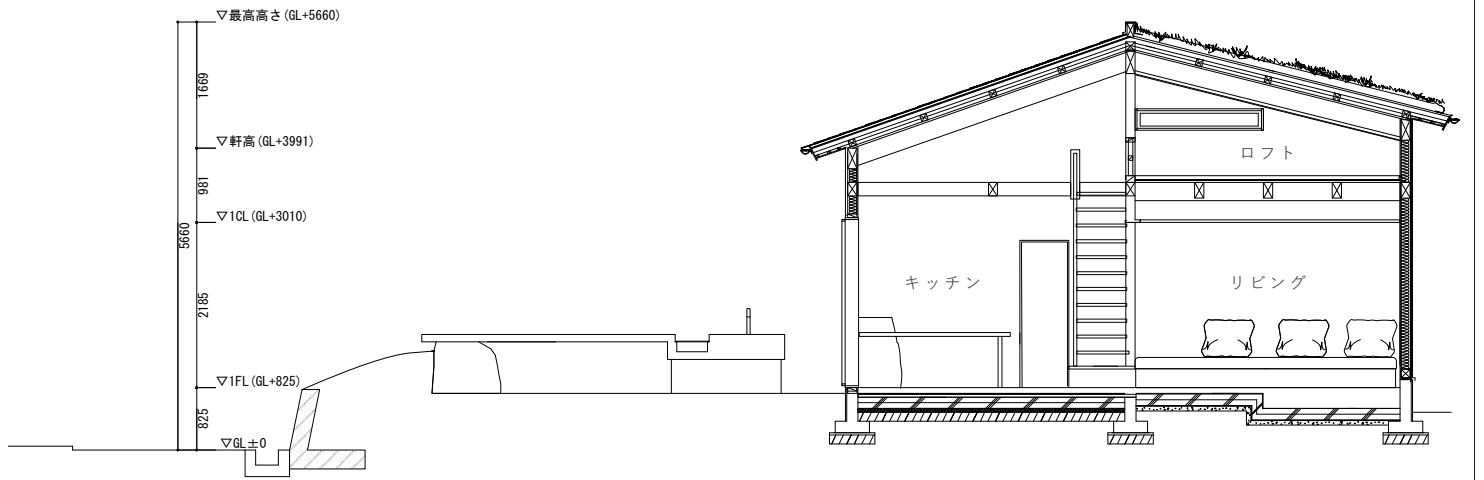
室内から緩やかに連続してきた起伏のある大地は屋外で丘や窪みを象る。丘に寄り添うように植物はゆっくりと成長し、大地の窪みに水が張られることで、訪れる人々を優しく包み込む浴槽となる。水面には空や土、植物が映り込むことで身体が島の風景に溶け込み、大地に身を委ねるうちに心身が緩んでいく。

左：水面の揺らぎが時間の豊かさを与えてくれる。
右上：石に支えられたタイルのテーブル。
右下：大地のなかで調理できるように設けた屋外キッチン。





平面図 scale=1: 100



断面図 scale=1: 100



概要

所在地：兵庫県淡路市浅野南
主要用途：宿泊施設

設計

ooc 担当 / 橋本卓磨

施工

ひととき 担当 / 大森宗典
大工：森建築
左官：総合建築植田
塗装：前田達也
建具：山下サッシトーヨー住器
屋根：板金なかにし
電気：フジデンキ
水道：藤井水道
外構：アウトリアガーデン
造園：スギーモ園藝事務所

規模

敷地面積：217.54㎡
建築面積：46.63㎡
延床面積：46.63㎡
建蔽率：21.44%
容積率：21.44%
階数：地上 1 階

寸法

最高高：5,160mm
軒高：3,480mm
主なスパン：910 × 910mm

敷地条件

地域地区：都市計画区域
道路幅員：3.7m

構造

主体構造：木造
基礎：布基礎

工程

設計期間：2025 年 2 月～2025 年 4 月
施工期間：2025 年 5 月～2025 年 8 月

外部仕上げ

屋根：スレート葺き、高麗芝植え
外壁：焼杉 t=12mm
外構：マサファルト
屋外キッチン：タイル t=10mm

内部仕上げ

リビング・ダイニング
壁：石膏ボード t=12.5 の上, 特殊塗装
床：土たたき仕上げ
天井：既存躯体の上, オイルステイン塗装

キッチン

壁：ベニア t=9 の上, タイル t=10mm
床：モルタル金ゴテ押さえ
天井：既存躯体の上, オイルステイン塗装

トイレ

壁：石膏ボード t=12.5 の上, 特殊塗装
床：フロアタイル t=3
天井：既存躯体の上, オイルステイン塗装

洗面脱衣室

壁：石膏ボード t=12.5 の上, 特殊塗装
床：既存フローリングの上, オイルステイン塗装
天井：石膏ボード t=9.5 の上, 特殊塗装

浴室

壁：既存板の上, 塗装
床：既存のまま
天井：既存板の上, 塗装

シャワー室

壁：サイディング t=15 の上, 特殊左官
床：モルタル金ゴテ押さえ
天井：サイディング t=15 の上, 特殊左官

サウナ室

壁：桧 t=12
床：桧 t=12
天井：桧 t=12

竣工写真撮影

大西裕輔 / Phi, Inc.